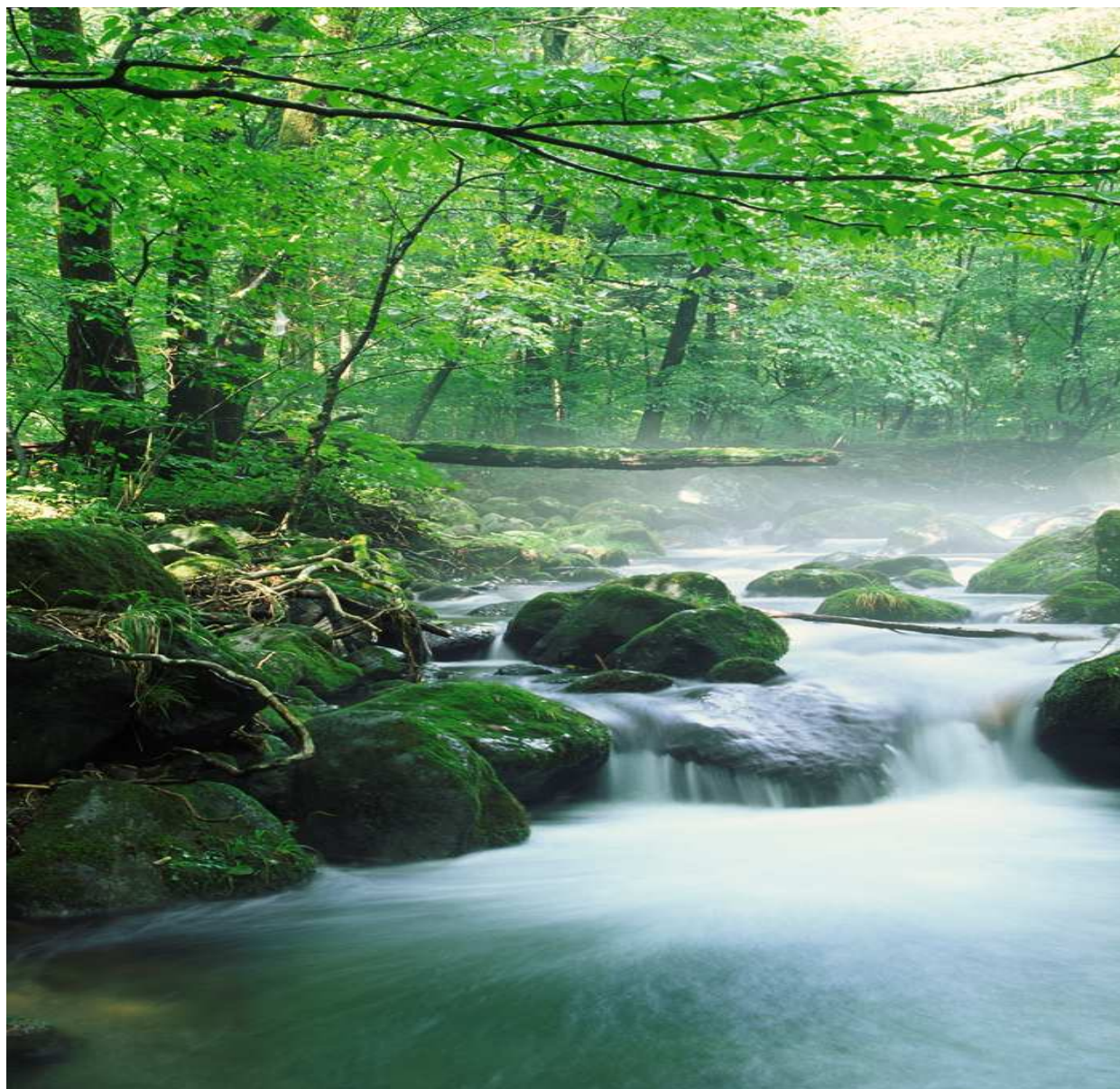


2010 環境レポート



中国電力株式会社 岡山支社

CONTENTS

CONTENTS

ごあいさつ	1
環境マネジメントの推進	2 ~ 3
環境管理目標および実績	4
環境への取り組み	5 ~ 11
電気自動車への取り組み	12
事業所紹介・編集後記	13



ごあいさつ



岡山支社長

井上 一男

当社では、従来より環境問題への取り組みを最重要課題のひとつとして位置付け、環境経営にグループ一体となって積極的に取り組んでいます。

こうしたなか岡山支社では、地域と協調した環境保全活動や環境に係わる社会貢献活動を推進し、社会とのパートナーシップを深める活動を展開しています。

また、循環型社会形成に向けた「ゼロエミッション活動」や、省エネルギーの普及・促進のための「エコ・オフィス活動」の実践に積極的に取り組んでいます。

このたび、岡山支社における環境活動の概要を「2010環境レポート」として取りまとめました。この環境レポートは、2005年度から毎年発行しており、今年で6回目の発行となります。ご覧いただき、ご意見やご助言などをお寄せいただければ幸いです。

私たちは、地域のお客さまとの環境コミュニケーションを積極的に推進し、さらに充実した環境活動に取り組むとともに地域の皆さまから信頼され、愛される企業を目指していきます。

今後とも当社の事業活動に対するご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

環境マネジメントの推進

事業活動に伴う環境負荷の低減を図るため、環境に関する国際規格ISO14001に準じた「環境マネジメントシステム(EMS)」を運用し、日常業務と一体となった活動を推進しています。

環境方針

EMSの展開にあたり環境活動に対する理念および取り組みの方針を定めた「環境方針」を掲げています。



推進体制

EMSの推進体制は支社長をトップとして、支社長が任命した責任者「環境管理推進者」のもと、各所属が環境方針の実現に向けた活動をしています。

各所属にはグリーントレーナーや環境リーダーを置き、EMSの運用を監査する内部監査チームおよびEMSの改善を審議する環境委員会を設けて、継続的な改善を図っています。

環境方針

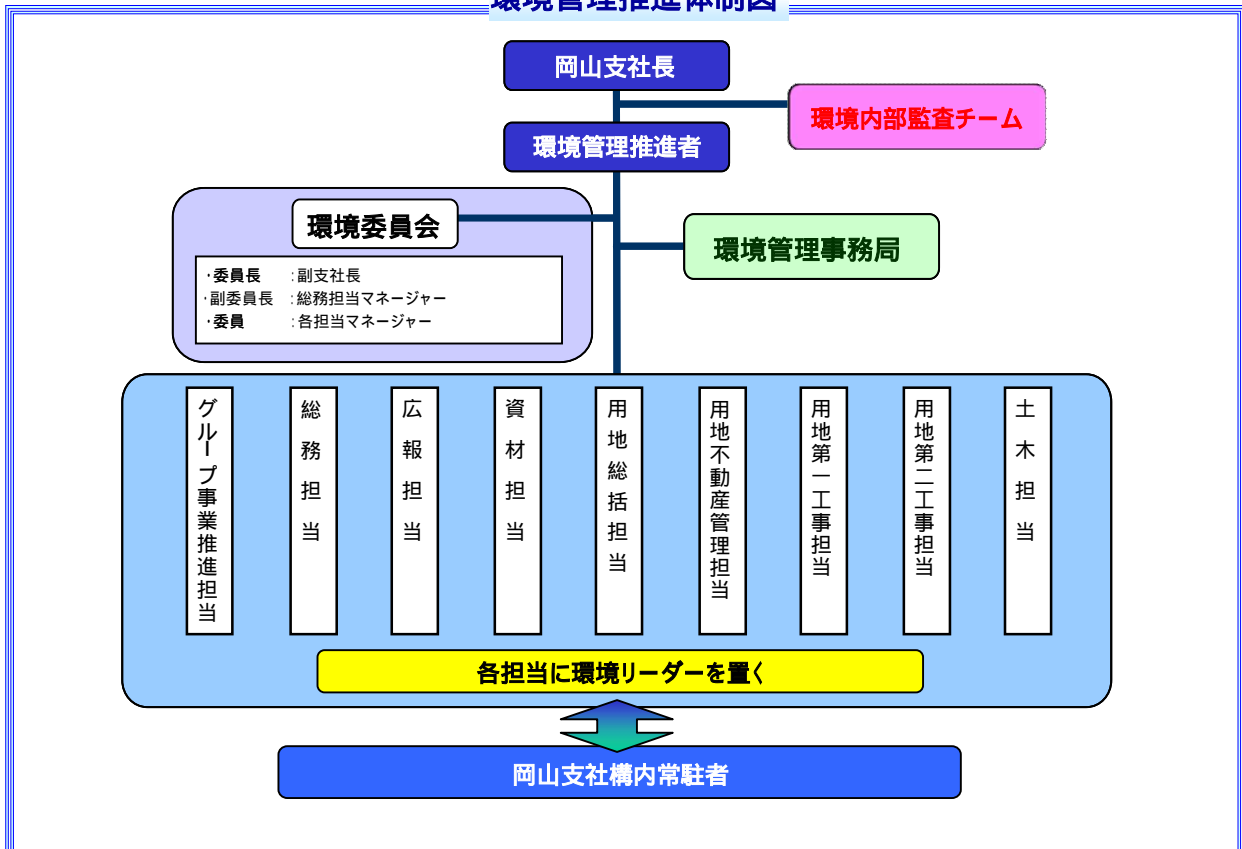
中国電力株式会社岡山支社は、「中国電力環境行動計画」に基づき、環境への取組みを推進することとし、以下の環境方針を定める。

1. 環境に関する法律・条例・協定等および岡山支社が同意するその他の要求事項を遵守し、環境に与える影響の低減に努めます。
2. 環境汚染の予防と省資源・省エネルギーを推進します。
3. 廃棄物の発生抑制(リデュース)を第一に、再利用(リユース)、再資源化(リサイクル)の推進ならびに適正処理に努めます。
4. 環境目的及び目標を設定し、定期的に見直しながら環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。
5. 地域と協調した環境保全活動や環境に係わる社会貢献活動を推進し、社会とのパートナーシップを深めます。
6. 環境方針は文書化し、社員等に周知するとともに、一般の方にも公開します。

平成18年 8月31日

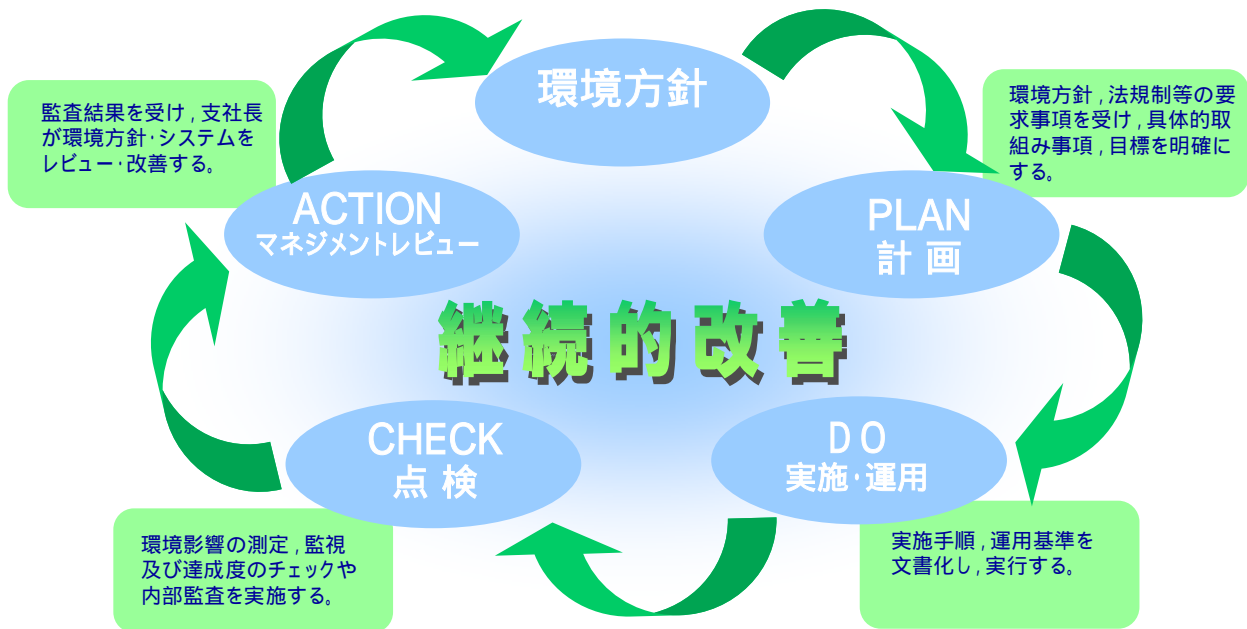
中国電力株式会社
岡山支社長

環境管理推進体制図



環境マネジメントシステム(EMS)への取組み

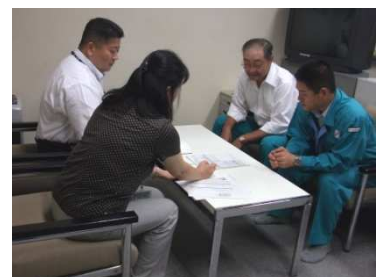
岡山支社では、従来からPDCAのサイクルにより継続的改善を図っており、環境マネジメントのレベルアップに努めています。



教育の実施

環境教育のリーダーとして、支社内各マネージャーをグリーントレーナーに任命し、社員の環境意識を啓発するため環境教育を実施するほか、社外団体が主催する研修会、セミナー等に積極的に参加しています。

また、社員だけでなく、岡山支社構内に常駐しているグループ企業等にも環境教育を実施するとともに、意見交換会などを開催し、意思疎通を図っています。



グループ企業への環境教育の様子

環境内部監査の実施

EMSが適切に実施され、継続されているか否かを確認するため、支社長が指名した「内部監査チーム」による監査を年1回以上実施しています。

支社長によるEMSの見直し

環境内部監査の指摘事項を環境委員会などで審議して、支社長がEMSの見直しを決定し、継続的に改善を図っています。


法規制遵守の状況


事業活動のあらゆる面において、環境に関する法令を遵守しています。

環境管理目標および実績

中国電力環境行動計画で設定している全社環境管理目標を踏まえるとともに、岡山支社で抽出した環境影響項目から支社で管理する目標を設定して、年度の取り組み計画を策定しています。

2009年度の環境管理目標と実績および2010年度目標は以下の表のとおりです。

 2009年度は、環境管理目標の**全項目**について、**目標を達成**することが出来ました。

 2010年度も、全項目の目標達成を目指します。



環境管理目標	2009年度			2010年度
	目標値	方 策	実 績	目標値
環境法規制等の遵守の徹底	点検実施率 100%	環境法規制等の教育の実施 環境法規制等遵守状況点検 環境法規制等の改正に伴う手順の見直しの実施 事務局による遵法性監査の実施	点検実施率 100%	点検実施率 100%
電気使用量の削減	年間使用量 3,000MWh以下	事務所・廊下等の照明の減灯の実施 室温計設置による室内温度の管理 各担当ごとの実態に応じた施策の実施 ・不要な照明等の消灯(昼休み、会議中、残業時) ・近隣階(1~3階程度)への移動はエレベーターを使用しない	年間使用量 2,846MWh	年間使用量 2,950MWh以下
用紙使用量の削減	年間使用量 7.4ト以下	プロジェクター、液晶ディスプレイの使用 各担当内で用紙使用量の削減施策の検討・実施 ・ワークフローの活用 ・両面コピーや裏面コピーを積極的に行なう	年間使用量 7.0ト	年間使用量 7.0ト以下
ガソリン燃費の向上	ガソリン燃費 13.3km/ℓ以上	エコドライブの徹底(アイドリングストップ、空気圧点検、積載荷物の点検等) 低公害車の計画的導入の検討	ガソリン燃費 13.6km/ℓ	ガソリン燃費 13.4km/ℓ以上
事務所水使用量の削減	年間使用量 4,500m ³ 以下	水道の減圧調整の実施(トイレ手洗い水等) 建物設備である自動加湿器の水量調整の実施 各担当内で水使用量の低減施策の検討・実施 ・節水行動の徹底	年間使用量 4,005m ³	年間使用量 4,500m ³ 以下
リサイクル率の向上	リサイクル率 98%以上	建設廃材等の有効利用率の向上を通して産業廃棄物発生量を削減	リサイクル率 100%	リサイクル率 98%以上
事務用品類のグリーン購入比率の向上	グリーン購入比率 95%以上	エコ商品の優先的な購入	グリーン購入比率 96%	グリーン購入比率 95%以上
環境教育の確実な実施	教育実施率 100%	グリーントレーナーによる環境教育の実施 (環境教育受講者延べ人数)	教育実施率 153%	教育実施率 100%
環境保全活動等の推進	活動実施率 100%	操山の環境保全活動の実施 社会福祉施設の環境保全活動の実施	活動実施率 100%	活動実施率 100%

環境への取り組み

☀️ 循環型社会形成への対応

📊 ゼロエミッション*活動の定着

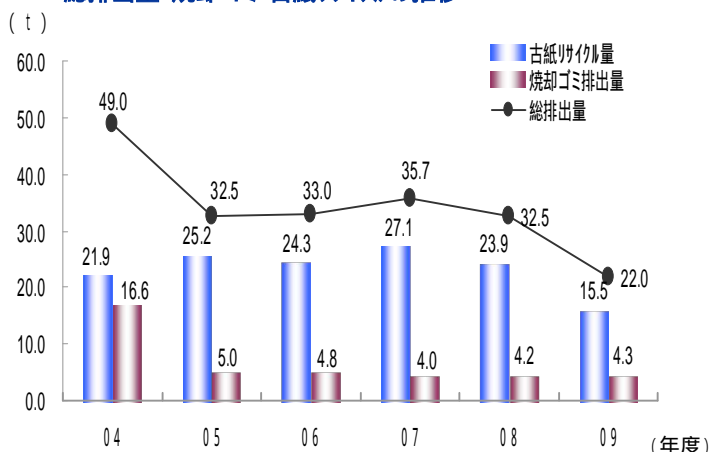
循環型社会形成への対応として、ビル内から排出される廃棄物について、2004年6月からゼロエミッション活動に取り組んでいます。

ゼロエミッション活動の主な内容は、ゴミの分別の徹底による再資源化の促進、古紙リサイクルの促進です。これらの活動により、社員のゴミ減量化に対する意識啓発にもつながり、ゴミ総排出量の抑制が図られました。

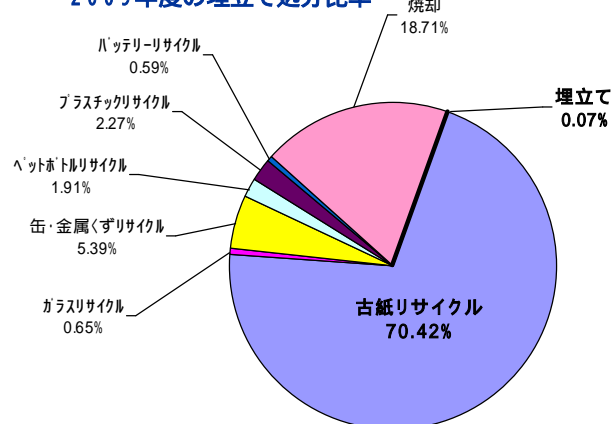
🗑️ ごみ置場の状況



📈 総排出量・焼却ゴミ・古紙リサイクルの推移



📊 2009年度の埋立て処分比率

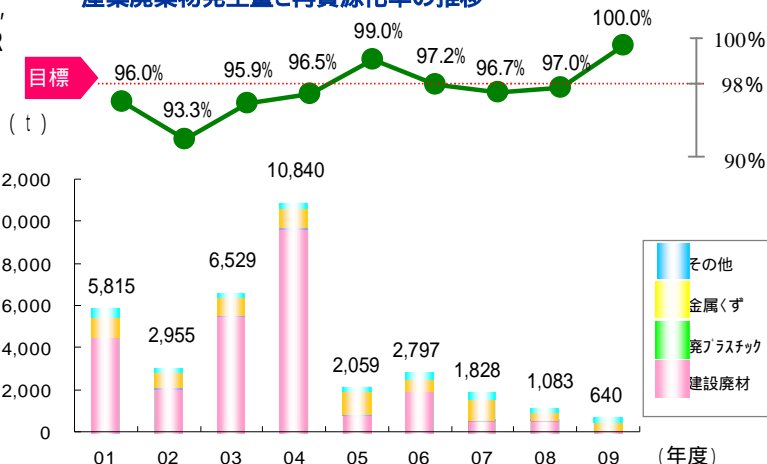


*ゼロエミッション (Zero Emission) とは、あらゆる廃棄物の有効利用を図り、埋立て処分量をゼロに近づけていく活動で、当社は「事業所から発生する一般・産業廃棄物の総排出量に対する埋立て処分量の割合を1%以下とする」ことを目標にしています。

📊 産業廃棄物発生量と再資源化率の実績

請負工事で発生した建設廃材等の産業廃棄物についても、廃棄物の発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再資源化(リサイクル)の3R対策を積極的に推進しており、2003年度以降の再資源化率は95%を超えています。

📈 産業廃棄物発生量と再資源化率の推移



📊 グリーン購入の推進

当社は、2002年に「エネルギーグリーン購入ガイドライン」を制定しており、岡山支社も環境負荷の低減のため、オフィス内で使用する事務用品などの購入にあたって、環境にやさしいエコ商品(エコマーク商品等)の積極的な購入を行なっています。

環境への取り組み

省エネルギーの推進

オフィスでの省エネルギー活動

オフィスでの省エネルギー活動に積極的に取り組んでいます。

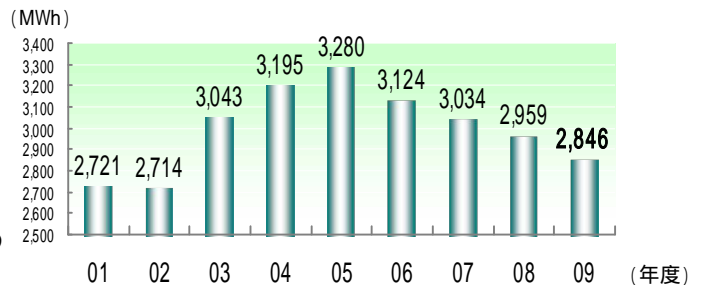
節電

事務所・廊下等照明の減灯、室温計設置による空調機の冷暖房設定温度の管理や換気設備の運転時間の短縮等の節電策を積極的に実施した結果、2006年度以降電気使用量を減少させることができました。

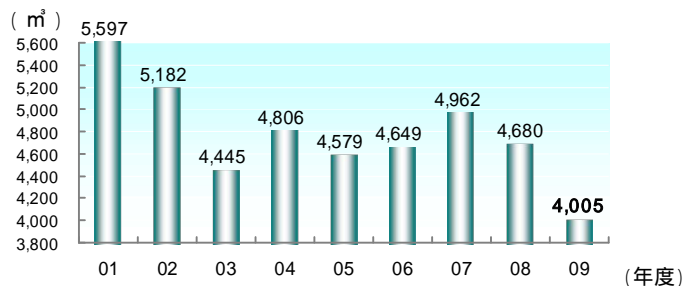
節水

2008年に建物設備である自動加湿器の水量調整やトイレの手洗い水の減圧調整を実施したことにより、水使用量を減少させることができました。

電気使用量



水使用量



節電の主な取り組み

- 昼休み、残業時には不要な場所の照明を消灯する。
- 事務所・廊下・駐車場等の照明は、支障のない範囲で減灯する。
- トイレ・会議室・湯沸し室等は、使用時以外は必ず消灯する。
- 冷房室温は28℃、暖房室温は20℃として、各室の見やすい位置に室温計を置き、常時温度管理をする。
- 退社時には、パソコンや携帯電話の充電器のコンセントを抜く。
- 退社時には、プリンターやコピー機など主電源を切る。
- 近隣階(1~3階程度)の移動はエレベーターを使用しない。
- 換気設備の運転時間を支障のない範囲で短縮する。



蛍光灯3本の器具を1本に減灯



見やすい位置に室温計を設置

岡山支社は岡山県主催の「2007おかやま発クールビズ宣言」に応募し、2007年8月 県知事賞「晴れの国クールビズ賞」を受賞しました。

これは、「冷房使用時の設定温度は28℃を目安にし、時間を決め(10時, 15時)、室内の温度管理を実施した」等の活動が高く評価されたものです。



受賞式の様子

節水の主な取り組み

- 雨水を貯蔵し、トイレ洗浄水として利用する。
- 支障のない範囲で水道の減圧調整をする。(トイレ排水・手洗い水等)
- 建物設備である自動加湿器の水量調整をする。
- 建物メンテナンス等の作業においても、きめ細かい節水を依頼している。



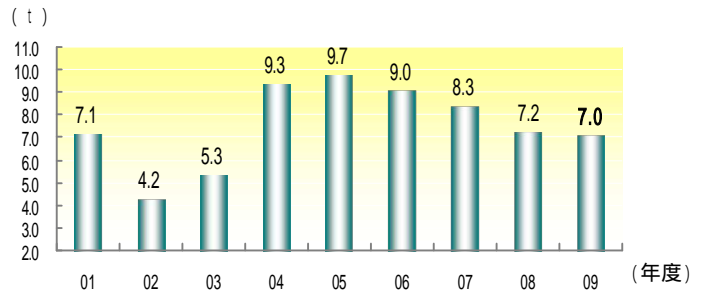
節水を依頼している様子

省エネルギーの推進

用紙の削減

2006年度以降、会議時におけるプロジェクター活用や電子承認等 IT (情報技術) を活用して、オフィス業務を効率的に進めた結果、用紙使用量を減少させることができました。

用紙使用量 (OA用紙購入)

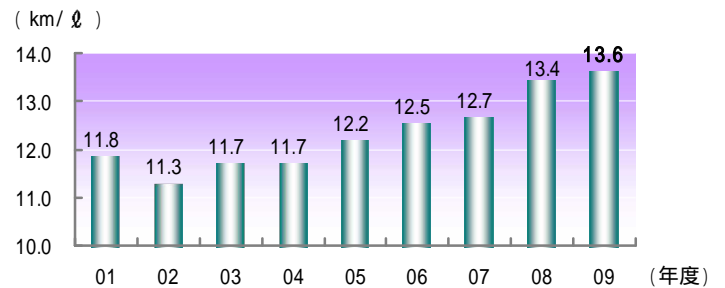


エコ・ドライブ

車両のリース替時における低公害車の積極的な導入や、アイドリング・ストップなど、エコ・ドライブ運動を展開しており、燃費が向上しています。

また、2009年7月に導入した電気自動車(1台)の積極的な活用や近隣への外出に自転車を利用するなど、環境負荷の低減に努めています。

ガソリン車燃費



用紙削減の主な取り組み

- プロジェクター等を積極的に活用し、会議での用紙は必要最小限とする。
- OA(ワークフロー・電子ファイル等)を活用しペーパーレス化を図る。
- メール文書等の印刷は必要最小限とする。
- 両面北側や裏面北側を積極的に行なう。
- A3の印刷をA4に縮小して印刷・コピーをする。
- コピー機の使用後はリセットボタンを押し、次に使う人のミスコピーを防ぐ。



プロジェクターを活用した会議の様子



裏面コピー用の用紙置場

エコ・ドライブの主な取り組み

- 駐停車時のアイドリング・ストップに努める。
- 必要以上の暖機運転はしない。
- 急発進、急加速はしない。
- 給油時にタイヤ空気圧をチェックする。
- unnecessary 荷物は積みっぱなしにしない。
- 低公害車を積極的に導入する。
- 近距離の外出は、自転車を利用する。
- 電気自動車を積極的に活用する。



自転車活用の様子



電気自動車の活用

環境への取り組み

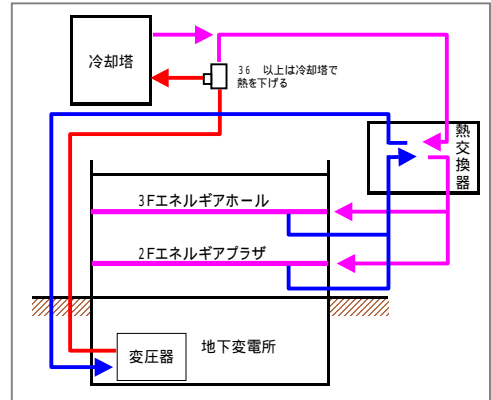
省エネルギーの推進

省エネルギー関連設備の紹介

排熱利用システム

通常、変電所の変圧器からの発生熱は、冷却塔から大気へ放熱しています。

岡山支社では、地下にある変電所(変圧器)からの発生熱を熱交換器で熱回収し、2Fエネルギープラザや3Fエネルギーホールの床暖房として利用しています。

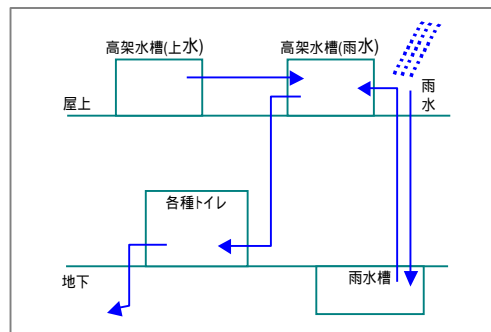


排熱利用設備

雨水利用システム

建物屋上に降った雨水を地下雨水槽へ貯水し、トイレ洗浄用として利用しています。

(2009年度雨水利用量1,561m³ 建物内水使用量の28%)



雨水の利用設備

太陽光発電システム

建物屋上に太陽電池パネル(最大出力10kW)を設置し、事務所電灯に使用しています。

(2009年度発電量9,436kWh 建物内電気使用量の0.3%)

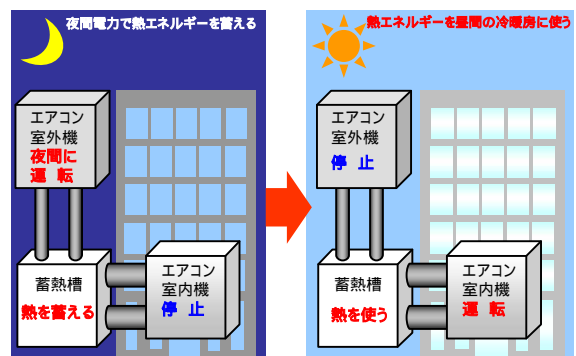


太陽光発電設備

蓄熱式空調システム

当社は、ピーク時の需要をその他の時間帯へ誘導したり、電力需要が低い季節・時間帯の電気の有効利用を促進するなど負荷平準化への取り組みを行なっています。

岡山支社においても、夜間電力を利用して蓄熱槽に熱を蓄え、その熱を冷房・暖房に利用する水蓄熱式の空調システムを設置しています。



蓄熱式空調の概要

環境コミュニケーションの推進

岡山エコ事業所として認定

岡山県では、循環型社会の形成のための取り組みが先進的、かつ、優秀であると認められる事業所を「岡山エコ事業所」として認定し、その取り組みを広く周知することにより、循環型社会の形成に向けての取り組みの促進を図っています。

岡山支社は、2005年8月5日に「岡山エコ事業所(一般事業所)」に認定され、環境にやさしいエコ製品の活用を積極的に推進しています。



岡山エコ事業所

(岡山県資源循環推進事業所)

中国電力株式会社 岡山支社

岡山エコ事業所は、グリーン購入に率先して取り組むなど、循環型社会の形成のための取り組みが先進的、かつ、優秀であると岡山県が認定した事業所です。

岡山県

岡山エコ事業所認定プレート

社外活動への参加

NPO法人「旭川を日本一美しい川に育てる会」に会員登録(2001年5月)しています。これは旭川河川敷の里親となって清掃美化活動に定期的に参加するものです。

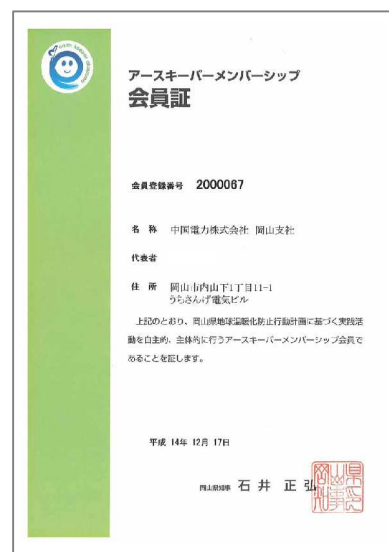
「アースキーパーメンバーシップ制度」に会員登録(2002年12月)しています。地球の温暖化を防ぐために、環境負荷低減活動を継続的に行うもので、省エネ・省資源・エコドライブの取り組み目標を設定し、目標達成に向けた活動を実施しています。

その他、以下の環境関係団体に加入し、地域に密着した環境活動に取り組んでいます。

エコパートナーシップおかやま (2002年8月～)
おかやま森づくり県民基金事業実行委員会
(2000年7月～)
地球温暖化防止プロジェクト推進会議
(2001年12月～)
岡山市事業系一般廃棄物
減量化・資源化推進協議会 (2004年8月～)



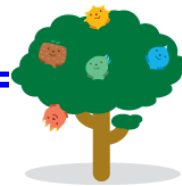
旭川一斉清掃の様子



アースキーパーメンバーシップ会員証

環境への取り組み

環境コミュニケーション



操山自然休養林の清掃活動

他の事業所とタイアップして、岡山市内の操山自然休養林の清掃活動を毎年実施しています。

同休養林は遊歩道が整備されており、清掃活動中には必ず散策されている方々とお会いします。その方々から「お疲れさま。遊歩道がきれいになって喜んでます。」とねぎらいの声を掛けていただくことも多く、毎年継続する励みにもなっています。



休養林清掃の様子

社会福祉施設の清掃活動

社会福祉施設の電気設備点検や清掃活動を毎年実施しています。

2010年6月に実施した清掃活動と花の苗の植付の際には、施設に入園されている方々も手伝いに出てきてくださり、一緒に作業することができました。

当日は天候にも恵まれ、スコップやクワを片手に、緑や自然の大切さなどを感じながら、さわやかな汗を流しました。



花の苗植付の様子

ボランティア清掃活動

2010年4月、岡山市主催「美しいまちづくりの日」一斉ボランティア清掃に参加しました。美しく快適なまちづくりにも協力しています。



清掃活動の様子

環境コミュニケーション

環境講演会の実施

社員および近隣のグループ企業社員の意識の高揚と知識の習得のため、年1回社外講師を招いて環境講演会を実施しています。

2010年6月に吉備国際大学の小田淳子教授をお招きし、「環境を考える暮らし～環境情報を活用していますか～」と題して講演を実施していただきました。

私達の身近にある環境情報を有効に活用して、環境に配慮した行動をとることの大切さをあらためて感じることができる講演でした。



環境講演会の様子

TOPICS

「最優秀賞」を受賞しました!!

2010年2月、岡山市から「平成21年度岡山市事業系ごみ減量化・資源化推進優良事業者」として【最優秀賞】を受賞しました。

この表彰制度は、事業所から排出される事業系一般廃棄物の減量化・資源化に積極的な取り組みを行い、成果をあげている事業者を表彰する制度です。

今回の受賞は、岡山支社において実施している『廃棄物の分別を徹底し、再資源化することにより、総排出量に対する埋め立て処分量の割合を1%以下にすることを目指した「ゼロエミッション」活動』への積極的な取り組みが評価されたものです。

この受賞を励みとして「ゼロエミッション」や「エコ・オフィス」など現在の活動を着実に実践するとともに、更なる改善を追求していきます。



表彰式の様子

電気自動車への取り組み

電気自動車の普及に向けて

電気自動車の業務用車両への導入



当社は、需要面における地球温暖化対策として期待される電気自動車の一般普及を図るため、2020年度までに累計700台の電気自動車を率先して導入することとしています。これは、当社が保有する業務用車両(特殊車両・トラック等を除く)の約4割にあたります。

特に初期需要創出の観点から、2012年度までに軽自動車を中心に累計200台の導入を予定しています。2009年度には、31台の電気自動車を導入しており、岡山支社へも1台導入しました。

なお、電気自動車を業務用車両として、700台を導入した場合、年間約600トンのCO2削減効果があると見込んでいます。



岡山支社担当区域事業所への導入状況
(2010年8月現在)

事業所	台数
岡山支社	1台
岡山営業所	2台
小豆島営業所	1台
倉敷営業所	3台
岡山電力所	2台
倉敷電力所	1台
高梁電力センター	1台

急速充電器

当社では、電気自動車の普及に向けてコンパクトで操作が簡単な急速充電器を開発し、2009年7月からグループ会社のテンパール工業(株)で製造・販売を行っています。

車両との通信により、安全な充電が可能
コンパクトで、狭いスペースでも設置可能
30分程度で、80%の充電が可能

電

気

自

動

車

の

魅

力

家庭用コンセントから充電できます
(200Vで7時間、100Vで14時間)

急速充電器により30分程度で
80%の充電ができます

ガソリン車に比べて安価な電力
を利用するため、燃料費がたい
へん経済的です



1回の充電で160km(10・15モード)
走行できます

走行中は全くCO₂を排出
しません

静かで、エンジンの振動もない
ため、とっても快適です

事業所紹介



事業所名 中国電力株式会社 岡山支社
所在地 岡山市北区内山下1丁目11番1号
うちさんげ電気ビル
建物規模 地下2階地上11階
社員数 156名 (2010年8月現在)



— ご案内 —

1Fと2Fには、出会いと情報の広場「エネルギアプラザ」があります。また1Fはギャラリースペースも設けており、毎週のように絵画や写真、手芸品などの展示が行なわれています。

近くまでお越しの際は、気軽にお立ちください。



ギャラリースペースの様子

編集後記

環境管理推進者から

地域社会から信頼されるよう努めます

当社は、環境問題への取り組みを最重要課題の一つとして位置づけ、地球温暖化対策や循環型社会形成の推進などの課題に積極的に取り組みを実施しています。

岡山支社においても、これまで環境保全活動や環境に関わる社会貢献活動に加え、エコ・オフィスの実践ならびにオフィスからのゴミ分別の徹底と再資源化に取り組んでまいりました。

今後も、環境レポートやホームページでの情報開示により、企業の社会的責任を果たすことで、地域社会から信頼されるように努めていきたいと考えています。

今後ともご支援・ご指導をよろしくお願いいたします。



副支社長 渡辺 力



中国電力株式会社 岡山支社

所在地 : 〒700 - 8706 岡山市北区内山下1丁目11番1号 うちさんげ電気ビル

TEL : (086) 222 - 6731

FAX : (086) 222 - 8874

アクセス: JR岡山駅から東山行き路面電車で「県庁通り」下車 徒歩3分

OKコートNグリーン100
この印刷物は古紙パルプ100%の用紙を使用しています。